

本物の味を求めて 産地に走るバイヤーが 生産者の思いを届ける

生産者が一個々一生懸命に栽培したリンゴを視察し、販売戦略に活かそうと株式会社力スミの青果担当バイヤーらが相馬地区に研修のため訪れた。広報で今まで紹介している通り、美味しさの追及を求めて当管内を訪れる人は少ない。

スーパーでリンゴを買い求めるお客さんは見た目を重視し「色が良く傷がないリンゴ」を手取る傾向が多く見えるとバイヤーは話す。贈答用リンゴに対して相馬地区産の評価は高く、高級品として全国各地で取り扱われていることから、産地に注目が集まってきた。実際に葉摘みや収穫体験をしたバイヤーは「収穫までの大変さを知り、リンゴ農家のためにも今まで以上に販売に力がある。」と話してくれた。

生産者は常に自然を相手にし、きれいで美味しいリンゴをつくっているが、見た目が劣るリンゴであっても一生懸命に育てたリンゴには変わりはなく、旨さには自信をもった飛馬りんごを作り続けている。贈答用として特選クラスの飛馬りんごが絶大な人気を誇ると



見た目より 中味です。

おいしい理由ありりんご



サビ果りんご

異常天候によつてりんごの表面がザラザラする状態です。



つる割れ果りんご

収穫前に雨が多かつたことで、ツル元が割れることです。



ホシりんご

生育期後半に肥料の効きすぎで、りんごにポツポツと星ができる状態をビターピットと云います。



キズ果りんご

強風などによつてりんごが樹上でゆれて、スレキズができることです。



変形果りんご

春先の天候によつて形の悪いりんごができることがあります。



鳥害果りんご

鳥や虫が一番おいしいりんごを食べます。被害部分を削って食べるとしてもおいしい理由がわかります。

ともに、見た目より中味で勝負する「理由ありりんご」があることも周知してもらいたい。低価格で美味しいりんごとして商品価値が高まっている「理由ありりんご」は季節感があり購入しやすい価格で自家消費用のニーズに答えているといつても過言ではない。安心・安全なりんごであることを納得して買ってもらえる環境づくりには量販店と当JAが取り組むとともに、信頼のある飛馬りんごづくりを生産者も忘れてはならない。

当JAでは、気象条件で被害を受けたリンゴを「理由ありりんご」として販売しています。